

平成 30 年 7 月 6 日

意見発表

赤井委員

本委員会に付託されました諸議案等について、公明党神奈川県議会議員団として意見、要望を申し上げます。

はじめに、県央・湘南都市圏の整備について。

交通ネットワークの南のゲートとしてツインシティの整備が進んでいますが、平塚市大神地区のまちづくりを更に進めるとともに、寒川町倉見地区のまちづくりについても早期の市街化区域に編入できるよう、町との連携をしっかりと取り組むよう要望いたします。

次に、県立都市公園の整備・管理の基本方針の改定素案について。

神奈川県公園等審査会の審議での意見などにもあったグリーンインフラの整備やSDGsの理念、リニアもしっかり反映できる内容にするよう要望いたします。

次に、高潮・浸水被害に対するソフト対策について。

昨今の異常気象による自然災害に対するリスクの公表は大変重要であります。早期に対象区域の災害リスクの公表を進めていただきたいと同時に、県民目線の立場から見ると、津波、河川、土砂災害、リスク公表、そして市町村のハザードマップと、ばらばらに公表され、分かりにくく誤解されてしまいます。人間の安全保障は何より大事です。であるならば、なおさら県民に分かりやすい公表方法を検討していただきたいと思います。

最後に、神奈川県営水道事業経営計画について。

管路の耐震化率の公表において、耐震継手管以外にも耐震性を有する管路もあることから、全管路の耐震化率の公表方法の分かりやすさに配慮する必要がありますと思われる。箱根地区水道事業包括委託について、水道法改正案が成立するに伴い、今後の水需要の減少に対する大事なポイントとして、コンセッション方式など次期経営計画に反映をさせていただきたい。

以上、意見、要望を申し上げ、本委員会に提案されました諸議案等について賛成いたします。